

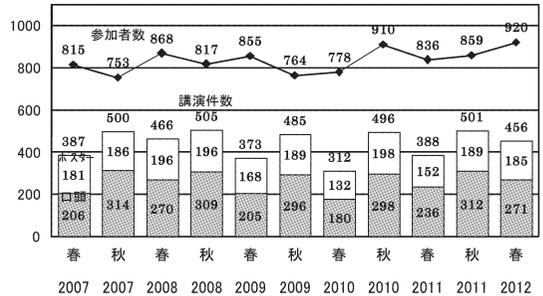
2012年度春季大会の報告

2012年度春季大会は、つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園2-20-3）を会場として2012年5月26日（土）～29日（火）に行われた。参加者数（前納登録者と当日受付者の合計）は920名で（第1図）、1991年以降の統計期間中、最も多くなった。

2日目午後には、国際会議場大ホールにおいて大会シンポジウム「放射性物質等の移流拡散問題ーモニタリング、予測、防災情報ー」が開催された。3日目午後には、同会場において総会が開かれ、公益法人移行に向けて新しい定款案が承認された。また、渡部雅浩氏に日本気象学会賞が、中澤高清氏に藤原賞が授与され、総会に続いて受賞者による記念講演が行われた。

大会期間中は、ポスターまたは口頭発表による一般講演、並びに特定のテーマに基づいてコンペーターが編成する7件の専門分科会が行われた。一般講演の発表件数は358件（内訳はポスターが185件、口頭発表が173件）、分科会は98件で計456件であった。

会期中およびその前日には、教育と普及委員会・地球環境問題委員会による公開講演会「地球温暖化問題における科学者の社会的役割」や気象災害委員会主催



第1図 過去5年間の大会参加者数と講演申込み件数（口頭、ポスター）。

による「5月6日の茨城・栃木の竜巻に関する調査研究報告会」を含め、個別のテーマによる7件の講演会や研究連絡会も開かれた。

今大会では気象研究所の皆様が大会実行委員会として大会準備・運営にご尽力頂くとともに、ボランティアとして大会運営にご協力頂きました。ここに深く感謝の意を表します。

2012年6月 講演企画委員会